

”社会を明るくする運動“作文コンテスト

# 石花さんが全国表彰に

## 深渡さん、立白君は県表彰

法務省主催の第57回”社会を明るくする運動“作文コンテストがこのほど行われ、普代中3年の石花紋子さんが日本更生保護女性連盟会長賞に輝き全国入賞を果たしました。また同1年の深渡美穂さんが県実施委員会事務局長賞に、普代小6年の立白翔大君

が同委員会会長賞にそれぞれ選ばれました。

全国表彰された石花さんの作品は「地震・雷・火事・おやじ」と題したもので、父親の厳しさと優しさ、いつも陰で支えてくれる姿を表現した作品でした。石花さんは同運動の街頭啓発活動も行っています。3人は「入賞できてうれしいです」と話していました。



表彰状を手にうれしい入賞の3人。左から石花紋子さん、立白翔大君、深渡美穂さん

表彰式は1月10日、盛岡市内丸の盛岡保護観察所で行われ、3人に表彰状が手渡されました。

同コンテストには県内から小中学校合わせて236名の応募がありました。

# 高齢者世帯などを対象に 灯油代6千円を交付

### お忘れなく、2月中に申請を



村は、今冬の暖房用灯油価格が急激に高騰していることから、灯油購入費の一部を助成しています。対象となる世帯の人はお忘れなく2月中に申請してください。

#### ■対象世帯

対象世帯は平成19年12月1日現在で、次の①から③のいずれかに該当する世帯で、世帯全員が平成19年度の村民税非課税の世帯です。なお、社会福祉施設に入所または入院している世帯、生活保護世帯は対象となりません。

#### ①高齢者世帯

年齢65歳以上のみの世帯

#### ②障害者世帯

知的障害者世帯：療育手帳交付区分Aランク及びBランクとなっている世帯で、その人が同居している世帯。  
身体障害者世帯：身体障害者手帳等級1級及び2級の人が、または障害年金1級の受給者が世帯主または構成員となっている世帯で、その人が同居している世帯。

精神障害者世帯：精神障害者保健福祉手帳等級1級及び2級の人が世帯主または構成員となっている世帯。

員となっている世帯で、その人が同居している世帯。  
③ひとり親世帯  
18歳未満の子どもとその父もしくは母のいずれか一方によつて構成されている世帯。

#### ■助成内容

1世帯当たり村内の灯油販売店で利用できる普代村福祉灯油券6000円分(千円券6枚)を交付します。

#### ■受付期間

2月1日(金)から2月29日(金)の期間の午前8時30分から午後5時30分まで。ただし土日、祝日は除きます。

#### ■申請方法

対象世帯の人は、印鑑を持って役場保健福祉課で申請書に必要事項を記入し、申し込んでください。

申請は代理人でもできます。その際は印鑑と免許証など身分を証明できるものが必要となります。また、都合により役場に来られない方は、地区の民生委員、役場保健福祉課(☎35-2114)にご相談ください。

# 消防団長に小屋敷亮二郎さん

## 道合政喜さんは勇退

道合政喜村消防団長(70 黒崎)が2月5日付けで勇退



道合政喜さん

小屋敷亮二郎さん

しました。後任には小屋敷亮二郎副団長(68 鳥居)が就任。同6日には役場で新旧消防団長の辞令交付式が行われました。

小屋敷消防団長は、昭和35年3月に消防団に入団。平成10年12月に本部長を経て、同12年6月に副団長に就任。以来7年にわたり団長を補佐してきました。

小屋敷さんは「微力ではあります。消防団のため全霊努力します」と就任に当

たり抱負を述べました。任期は平成20年2月6日から22年1月14日までです。

道合さんは昭和35年3月に消防団に入団。同53年3月でいったん退団しましたが、同57年7月には団本部副分団長として再入団しました。また平成10年から副団長を務め、平成14年には団長に就任。その後6年間、村民の生命、財産を守るため、消防団のトップとして団をまとめ日夜尽力されました。

また、新しく副団長に三船隆久さん(55 中央区)、本部長に金子泰久さん(53 黒崎)が決まりました。

# 元気なコミュニティ100選 村から「緑区」が選ばれる



選定書を受け取る熊谷副会長(左)

このほど県が選定する「元気なコミュニティ100選」に緑区(高井俊雄会長)が選ばれました。1月16日には交付式が役場で行われ、和嶋憲男久慈振興局長から選定書が熊谷公男副会長に手渡されました。

緑区は、平成3年から毎年6月に「クリーン・グリーン大作戦」として地区内や普代駅など公共施設の清掃活動や花植えなどに取り組み、地域の美化活動に努めたほか、地区の子どもたちとミズキ団子作りなども行い、役場1階の村民ホールに飾るなど、地域の活性化に寄与し、他の団体の模範となることから選定されました。高井会長は「これまでと変

# 金子ツヤさん元気に102歳

## うねとり荘で祝う会



長寿の証を付け取る金子ツヤさん

村特別養護老人ホーム「うねとり」荘(大上重信施設長、入所者60人)に入所する金子ツヤさんが1月10日、元気に

102歳の誕生日を迎えました。

同荘ホールでは祝う会が行われ、深渡宏村長が「金子さんにあやかっただけでも長生きしてください」とあいさつしました。

親族や入所者約60人が見守る中、大上施設長が花束を手渡し、続いて野崎幸太郎普代福祉会理事長から長寿の証などが手渡されると、金子さんは「ありがたいございます」とお礼し、皆さんから温かい拍手が贈られました。

祝う会には利願会(外館トシ子代表 久慈市)のメンバーも駆け付け、歌や舞踊などを披露されました。金子さんは明治39年1月10日生まれで、茂市出身です。